

総括研究報告書

1. 研究開発課題名：拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究
2. 研究開発代表者：筒井 裕之（北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学）
3. 研究開発の成果

「拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究」における研究の統括、データ収集、解析を行った。今年度の研究開発項目である「拡張相肥大型心筋症の現状の解明」のために、北海道大学循環器内科を中心に「特発性心筋症に関する調査研究」班の 12 施設（北海道大学、山形大学、東北大学、東京大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、金沢大学、国立循環器病センター、奈良県立大学、福島県立大学、東京慈恵会医科大学、九州大学）において倫理委員会への申請が終了し、拡張相肥大型心筋症に関する多施設共同レジストリーを構築し症例登録を開始した。今年度中に 32 症例が登録され、拡張相肥大型心筋症の発症時、拡張相移行時におけるデータを登録しその後追跡調査を行うための基礎データを集積した。拡張相肥大型心筋症の臨床像、治療内容、重症度を含めた現状を把握し、さらに登録時点までの心血管イベント発症を解析し、心不全や不整脈の発症関連因子、重症度関連因子を解明する予定している。

2015 年 7 月 4 日に日本医療研究開発機構研究費（難治性疾患実用化研究事業）班会議を東京にて開催し、研究開発の概要（背景、目的、期待される効果など）と主なスケジュール（ロードマップ）、担当内容などについて情報共有を行い、研究開発の推進に向けての対策を確認した。

4. その他
特記事項なし